

【宿題の価値（本校の取組）】

ある保護者から「金津中学校では、十分な宿題を出してくれないので、家庭で勉強をしなくなって困っている。」というような相談を受けました。このことについて説明したいと思います。

そもそも宿題とは、学校で学んだ内容の定着を図ったり（復習）、次に学ぶ内容について事前に調べたり（予習）するものです。さらには、新しく学ぶ漢字や英単語を10回ずつノートに書いてくるといったやや機械的な宿題でも、家庭生活の中に夕食や入浴とならんで宿題をする時間を決めることにより、規則正しい生活を送るという点でその意味もありました。

しかし、(以前からも説明しているように)これからの社会は、日々の生活の中で自ら課題を見出し、その解決に向け取組める力が大事になってきます。指示待ちだったり、言われたことだけをこなしていたりするだけでは、厳しい社会を生き抜いていけません。

宿題も同じだと考えます。教師から与えられた宿題だけをしていたのでは、たとえ漢字や英単語を覚えられたとしても、それは生きる力とは言えません。なぜ英単語を覚えなければいけないのか？テストのためであってもいいです。その目的のために自ら取組むことが大事なのです。先生から言われてやる宿題から、自分で必要とする学習に変換していかなければなりません。

家庭で勉強しなくなっている。もしこれが事実なら、お子さんに聞いてください。何のために学校に行っているのか？自分の将来についてどう考えているのか？その問いに答えられるようにしていくことが先だと思うのです。

ちなみに本校では、すべての学年に「学習室」を設置しています。やる気がある生徒たちは、お昼休みにここで学習しており、3年生は放課後も利用できるようにしています。ここで学習している生徒は、自分を律しつつ、自分の目標実現のために頑張っているのです。

本校は頑張る生徒をとことん応援する学校でありたいと思います。

